

相談窓口となる議会事務局（局長・次長）も含め、全体を通じ被害者のプライバシーや二次被害等を被ることのないように十分に配慮します。

議員から、パワハラ・モラハラ・セクハラ・
アルハラ等のハラスメントを受けた
or 目撃等した

相談
通報

関係者

（相談窓口）議会事務局 局長又は次長

（第6条）

報告

局長

関係者に対する事実関係を把握するための調査

（第7条）

実施

議長

必要と認めるときは、**審査委員会設置**
（※委員会の設置を必要とせず調査のみに
より認定等される場合もあり。）

（第8条）

（第9条・第13条）

関係者

調査
協力

認定

守秘
義務

議員
議会事務局長・次長
委員会委員

- ① 審査委員会は、審査結果を議長に報告
- ② 議長は、調査のみ又は委員会にてハラスメントが認定されたときは、**当該議員に対し内容を通知し、指導、助言、注意等の必要な措置を講じるとともに、関係者に対しても、内容及び講じた措置を通知しなければならない。**
（※認定されなかったときも、結果を通知する。）

（第10条）

（第11条）

- ① 全員協議会を開催し、ハラスメントを行った議員の氏名、事案、講じた措置を報告する。HP等への公表について、議運で可否を決定。
- ② ハラスメントの概要を公表することにより**被害者が特定されるおそれがあるとき**、またはハラスメント**被害者が望まないときは、その一部を公表しないもの等とする。**

（第12条）